



Title : 年にいちどの蔵書点検

❖ 中央図書館の蔵書点検

9月の第1週、2日(火)から7日(日)まで、中央図書館は蔵書点検のため休館します。月曜の通常休館日を合わせると1日から8日までの休館になります。

蔵書点検とは図書館の所蔵資料の所在の点検を行うことです。メインの作業は、職員全員で本に付したバーコードを機械で読み取り、目録と付け合せます。その準備や、あるはずの本がないという不明本の探索など、たいへんな手間がかかります。それでも、目録が電子化されたことで以前の目録カードの時代に比べればずいぶん楽になっているはずです。

中央図書館は14万冊余りの資料をチェックするので休館して蔵書点検を行います。花矢、比内、田代の3図書館は冊数が5万冊以下なので、月曜の休館日などを利用して点検を行い、休館せずに利用できるよう計らっています。9月の中央図書館休館中も3館は利用できますので、どうぞご利用ください。

ちなみに、中央図書館が所蔵する県の重要文化財である菅江真澄の資料は、県立博物館でやはりこの時期に行われる資料の燻蒸(くんじょう)を一緒におこなってもらいます。和書は虫やカビの害を受けやすいので、永く保存していくためには欠かせない作業です。

前回のコラムでもお知らせしましたが、今月19日から31日まで、中央図書館の貸出点数を図書10冊、紙芝居10巻に増やしています。貸出期間も休館中を合わせて3週間と、通常より1週間延ばしました。この機会をぜひ活用してください。

❖ 『図書館でホットタイム』始めます

中央図書館の応援団として永年活動している団体として、その名もずばりの「大館市立中央図書館後援会」があります。同会は中央図書館に物心両面の支援を行ってきており、図書の寄贈や読書感想文コンクールへの支援、各種ボランティア団体への補助、文化セミナーや文化講演会、文学散歩(バスツアー)の開催など、その活動は多岐にわたります。

来週、8月27日(水)には後援会主催の新たな催しがスタートします。昨年のワイガヤ会議で出た、気ままに本のことなどを話し合える場が図書館の中にほしい、という要望が実現した形です。中央図書館2階の視聴覚室を会場に、午前11時から午後3時までオープンします。飲み物も用意されるそうなので、ホッと時に、どうぞいらしてください。毎月第4水曜日に開催予定です。

この催しの興味深い点は、茶席でいえば亭主のような人を設定したことです。初回は、後援会の会長である近藤巧さんが務めます。教師経験の長い近藤さんはもちろん読書家ですが、何ととっても温厚で篤実な性格が皆の信望を集めています。午後1時からは近藤さんのミニ講演会もあります。お待ちしております。

❖ 後援会の講演会

9月6日(土)午後1時半から、中央図書館後援会主催の文化講演会が開催されま

す。上記のとおり蔵書点検のため休館中ですが、会場の2階資料室には入場できます。

今年の講師は、大館の名物和尚と言っていいでしょう、玉林寺の桑名秀明住職をお招きします。演題は「仏教雑話など」。笑話集『醒睡笑』（東洋文庫、中央図書館に所蔵あり）を著し落語の祖ともいわれる安楽庵策伝を持ち出すまでもなく、お坊さんは話の上手い人が多い。桑名さんも話題の広さ豊富さに定評があり、ドイツ留学時代の話など国内外の多彩な話も期待されます。お楽しみに。 （陽）